

しほろ議会だより

令和元年 8月 No. 173 ■発行／土幌町議会 ■HPアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>



町内の青年サークルがワッフル作りで挑戦

Contents

- 6月定例会
条例改正 ほか……………2ページ
- 一般質問
国保税の均等割を廃止することについて……………4ページ
- 追跡リポート……………5ページ
- 研修会報告……………7ページ
- かけ橋「土幌町農畜産物加工研修施設の利用にあたって」
産業振興課 主幹 杉本 忠宏さん……………8ページ

旧道の駅ピンプ1をリノベーション

『しほろキッズ』6月17日オープン

士幌終末処理場建設工事請負契約を可決

契約金額 3億780万円 (第2期)



第2回定例会 (6月13日、一般質問)

第2回定例会が、6月7日から17日までの会期で開会。

7日は行政報告、教育行政報告、ほか5件の報告を行い、報告5件の同意等を行った。(6月7日～12日は議案調査のため休会)

13日は、議員1名が1件の一般質問を行った。条例案4件、議件4件を審議、可決した。

14日は、令和元年度一般会計補正予算他2件、追加議案として工事請負契約の締結4件、物品購入契約の締結1件、会議案1件、意見書案4件を審議し、全ての議件を原案どおり可決し、閉会した。

町税条例の改正

【個人町民税】

①ふるさと納税の見直しにより、ふるさと納税特例控除の対象を「特例控除対象寄附金」へと変更し、6月1日以降もフンストップ特例の対象とする。

②申告書の記載事項の簡素化(年末調整の控除額(内訳)は、確定申告書への記載を省略できる)。

③申告書の項目で給与所得者の扶養親族に新たに単身児童扶養者を追加する。

④申告書の項目で公的年金等受給者で単身児童扶養者となる場合の記載事項を追加する。

⑤非課税の範囲に単身で児童を扶養するもの(児童扶養手当を受け、前年の合計所得が125万円以下であるもの)を追加する。

【軽自動車税】

①自動車取得税が廃止され、環境性能割が10月から導入され、当面は北海道が実施主体となり行う。

②税率の特例

○消費税改定後から令和2年9月末までに取得された軽

自動車の環境性能割の税率1%分を軽減する。

○重課(税率が重くなる)、及びグリーン化特例を令和2年度及び令和3年度へ延長する。

○環境性能割の認定後に不正な行為で取り消された場合の納税者を規定する。

○グリーン化特例を、令和4年度、令和5年度においても規定する。(電気・天然ガス自動車のみとなる)。

介護保険条例の改正

第1号介護保険料軽減対策として、公費により住民税非課税世帯の第1段階から第3段階の被保険者の保険料を引き下げるもので、介護保険法施行令に基づいて行う。

辺地総合整備計画の変更

下居辺地総合整備計画に新たに実施する事業を追加した。

意見書審査報告

各常任委員会に4件の意見書(案)が審査依頼され、本会議に提案し、原案のとおり決定され関係機関に送付した。

【総務文教常任委員会】

①2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

②地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

③「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・30人以下学級の実現に向けた意見書

【産業厚生常任委員会】

①2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

※フンストップ特例

確定申告の不要な給与所得者等がふるさと納税を行う場合、確定申告を行わなくてもふるさと納税の寄附金控除を受けられる仕組みをいう。

国保税の条例改正

【課税限度額の改正】

医療分の課税限度額を現行の58万円から61万円に引き上げるよう改正

【軽減基準額の改正】

- ①5割軽減の対象となる所得基準額を27万5千円から28万円に引き上げるよう改正
- ②2割軽減の対象となる所得基準額を50万円から51万円に引き上げるよう改正

区分	軽減基準	
	現行	改正
7割軽減	33万円以下	33万円以下
5割軽減	33万円 + (27.5万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)) 以下	33万円 + (28万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)) 以下
2割軽減	33万円 + (50万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)) 以下	33万円 + (51万円 × (被保険者数 + 特定同一世帯所属者数)) 以下

会計補正予算

一般会計、ほか国民健康保険事業及び介護保険事業特別会計の補正予算を可決。

主な補正内容は次のとおり

▼喫煙所設置工事（役場庁舎他の屋外喫煙所等の設置）

350万円

▼事務所内電気配線工事（役場庁舎1階の電気配線工事）

59万円

▼肖像画作成業務（前議長の肖像画作成）

8万円

▼プレミアム付商品券事業（低所得者・子育て世帯を対象として実施）

830万円

▼低所得者介護保険料軽減繰出金（介護保険料軽減分）

385万円

▼ひとり親家庭等ファミリーサポート利用料助成金（子どもの預かり費用を助成）

40万円

▼明渠排水工その他

1,500万円

▼道の駅ピア21しほろ施設設備改修工事（場外に点字ブロック設置）

60万円

▼土幌小学校体育館補修工事（北側外壁補修）

▼生徒用図書購入費（学校図書室に設置） 411万円
10万円

▼スクールバス更新事業（マイクロバス購入から中型バスに変更）
1,287万円

▼自動車借上料
（米国スモークキービル高校との交流事業） 13万円

▼国際化人材育成推進事業（土幌高校生が中央アジアのキルギス共和国との現地交流事業） 270万円

▼中土幌公民館照明器具取替工事 55万円



6月に来町した米国高校生

第2回定例会で審議・可決等された案件

報告

▼行政報告

▼教育行政報告

▼例月出納検査報告

▼平成30年度土幌町一般会計繰越明許費繰越計算書について

▼平成30年度土幌町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について

▼株式会社Cheersの経営状況の報告について

条例の改正

▼土幌町町税条例の一部を改正する条例案

▼土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例案

▼土幌町介護保険条例の一部を改正する条例案

▼土幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

▼一般議案・その他

▼北海道町村協議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

▼北海道市町村総合事務組合規約の変更について

▼北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

▼辺地総合整備計画の変更について

▼物品購入契約の締結について

▼工事請負契約の締結について

▼工事請負契約の締結について

▼工事請負契約の締結について

▼議員派遣の件

▼令和元年度各会計補正予算

▼一般会計(第1号)

▼国民健康保険事業特別会計(第1号)

▼介護保険事業特別会計(第1号)

意見書

▼2020年度地方財政の充実・強化を求める意見書

▼地方公務員法及び地方自治法の一部改正における会計年度任用職員処遇改善と雇用安定に関する意見書

▼子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員の超勤・多忙化解消・30人以下学級の実現に向けた意見書

▼2019年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

結果 賛・反

結果 賛・反

了承

了承

了承

結果 賛・反

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

可決

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

賛・反

町民の声を町政に・町政のことが聞きたい

一般質問に1名が登壇

清水 秀雄 議員 国保税の均等割を廃止することについて

6月定例会では1人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをいただきました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(9月上旬予定)します。

低所得者に国保税の減免を

状況をチェックし検討

【清水秀雄 議員】



質問

国保税は、低所得者には重い負担となっている。その大きな要因が国保にしかない均等割と平等割という仕組みである。

均等割を廃止して低所得世帯や家族の多い世帯の負担軽減を求めるものであるが町長の所見を伺う。

町長答弁

現在、本町では平成30年度の国保都道府県化に伴い、算定方式を4方式から3方式に変

更したところであり、法律に定めのある、2方式が所得割と均等割の方式であることから均等割を廃止することは、現行法では不可能である。

質問

国保税にしかない均等割、平等割によって所得の有無、高い低いに関係なく税額が算定され、課税されることにより生活や健康、は

たまた命までもが脅かされかねない実態がある。また、国保税の収納状況も2013年で未収金が19件183万3,164円であったものが、2017年には41件329万4,300円と増えている。41件で329万4,300円であることから

低所得階層の収納状況が悪いことがわかる。

均等割を廃止、減免している自治体は全国に25ある。ある自治体の例を申し上げる。協会けんぽと国保を比べると同じような収入であったとしても負担に格差、不公平感があり、その部分を自治体が負担し、緩和するのが子供の均等割の減免だと考え、2019年度から18歳以下の子供の均等割を減免している。子育て世代にとっては、非常に大きな救いとなると思うが検討してはどうか。

町長答弁

未納者が増えているということは、収めにくい環境にあるのかどうかよく分析して検討したい。

今の法律の中では、均等割を廃止するというのは無理だと思っが、その部分を別な形で子育て支援策として補填するという方法はある。清水議員が言われた25自治体がどのようにやっているのかということも含めて検討したい。また、国保の保険税の状況を一度チェックしてみたい。

国民健康保険税の算定方式

北海道	応益割 (57)		応能割 (43)	
	均等割	平等割	所得割	資産割
4方式	均等割	平等割	所得割	資産割
3方式※	均等割	平等割	所得割	-
2方式	均等割	-	所得割	-

※北海道が標準方式として決定
 均等割額→一人当たり×基準額
 平等割額→一世帯当たり×基準額
 所得割額→世帯の所得額合計×基準率

その後どうなったの!?

就学援助費の早期支給

質問 平成29年3月第1回定例会
質問者：清水 秀雄 議員

就学援助費の入学準備金の支給時期を変更してはどうか

子どもの貧困対策で新入学児童生徒の入学準備金の支給時期を入学前に変更してはどうか。

答 弁

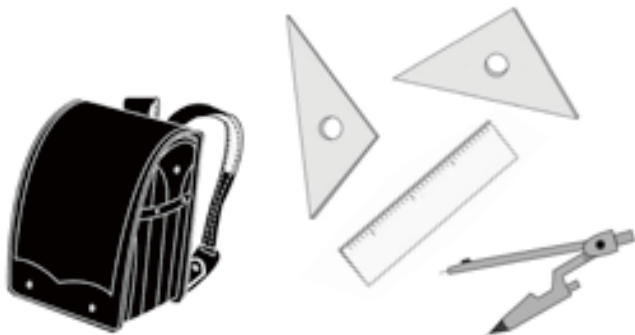
入学前に支給できるよう制度改正

これまでは、申請に基づき入学後の7月に支給していたが、入学前の早期に支給できるよう検討中である。

その後

入学準備金の支給について

- ①新中学生
平成29年度入学 →入学前の3月
平成30年度以降入学→入学前の12月
- ②新小学生
平成30年度以降入学→入学前の2月



自主防災組織の設立

質問 平成29年3月第1回定例会
質問者：前 飯島 勝 議員

自主防災組織の課題解決に支援を

- ①設立時から現在の活動内容に認識の違いがある。
- ②人材育成の支援が必要。
- ③避難所運営では民間協定が必要。

答 弁

自主防災組織は駐在区機能を活かして組織化

- ①見守り活動が中心だったが緊急時の情報伝達や救護など、「共助」活動の取組。
- ②組織リーダーの人材育成研修や地域防災訓練を支援。
- ③各業界団体や町内事業所と協定締結。

その後

新たに11組織が結成

平成29年3月時点で3組織から現在は、14組織が結成されました。支え合いで、安心安全を共感するまちづくりに向けて引き続き取り組んでいく。



▲自主防災会勉強会（大通町内会）

高齢者の移動手手段確保

質 問 平成30年 3月第 1 回定例会
質問者：加藤 宏一 議員

運転免許証の自主返納後の対策は

- ①高齢者の安全運転支援策は。
- ②市街地運行のコミバスは利用実績が上がっている、農村へも拡大しては。



答 弁

アンケート調査で実態を把握

- ①老人クラブ連合会総会などで交通安全講話を行い、事故防止運動に努めている。
- ②農村部は、何らかの交通手段対策を進めなければならないと認識している。



その後

令和元年10月から ハイヤー代金助成の実証事業を開始

士幌市街地以外に居住している運転免許証を保有していない高齢者に対し、ハイヤー代金の2往復分（自宅～役場間）を助成する。

▶実証実験で使用されるハイヤー



犯罪防止の対応策

質 問 平成30年 6月第 2 回定例会
質問者：大西 米明 議員

防犯対策を見直し、抑止力強化を

- ①事業所や車の窃盗事件の対策
- ②登下校時の犯罪事件の対策



答 弁

防犯カメラの設置を予算化

- ①生活安全推進協議会と駐在所の連動により、防犯パトロールを実施。
- ②家庭・学校・地域と関係機関が連携して安全・安心な地域づくりを推進し、通学路に防犯カメラの設置を行う。



その後

平成31年 1月から防犯カメラを運用

士幌・中士幌市街地に10カ所の防犯カメラが設置され、交通事故や犯罪などの抑止力として期待される。

◀通学路に設置された防犯カメラ



9月定例会を 傍聴しませんか。

第3回定例会は、9月6日から開催を予定しています。

詳しい日程については、チラシ等でお知らせしますので、皆様の傍聴をお待ちしています。

議会ホームページをご覧ください

町民の代表である議員の活動内容を広く住民にお知らせし、開かれた議会を目指すためにホームページを開設しています。

アクセス方法は士幌町のホームページのメニューから士幌町議会を選ぶか、次のアドレスを入力してください。

<http://www.shihoro.jp/assembly/>

町村議会議員研修会に参加

6月25日(火)、札幌
コンベンションセンターにおいて、全道町村議会議員を対象とした研修会が開催され、全道144の町村から多くの議員が集い、本町からも議員が参加した。



研修会では、講師の有馬晴海氏(政治評論

家)が『どうなる?』

今後の日本政治』と題して講演され、「現在の国政状況」、「各地で高い評価を得ている取り組み」などを紹介された。また現在、AI(人工知能)の精度が格段に向上していることから自治体政策の高度化についても示唆された。

続いて、中央大学名誉教授の佐々木信夫氏が『地方は変わるか? 議会は どう変わるか、自治体を どう変えるか?』と題して講演され、「人口減少社会で自治体経営の新たな展望・地方議会の改革ポイント」について、政策能力の向上など自己研鑽が必要と激励をいただいた。熱心に講演を聴講し、議員活動の糧とすべく見識を深めた。

道内先進地行政視察概要

◎視察期日及び場所

6月26日(栗山町・秩父別町)

27日(東川町)

今回の行政視察は、閉校後の施設利用事例と子育て政策について、各機関の取り組みを視察し見聞を広めた。

▼栗山町

旧町立雨煙別小学校の現存校舎は、昭和11年に木造2階建てで建設され、平成10年度末で閉校となった。

再活用の検討に歳月を要したが平成20年NPO法人雨煙別学校が設立され、財団法人コカ・コーラ教育・環境財団の支援と町民ボランティアの工事参加を得て、平成22年くりやまふるさと自然体験の拠点施設として雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスとして再生された。

▼秩父別町

子育て応援宣言の町
○こども屋内遊戯場「キッズスクエア ちっく」

平成29年4月1日にオープンした道内最大級の立体的な大型ネット遊具が施設内に張り巡らされ、ウォールクライミングやチューブスライダー等の遊具や幼児専用コーナーも設置されている。

○屋外遊戯場 キュービックコネクション
平成30年7月7日にオープンした日本一の規模を誇り、幅58m、高さ13mの1辺が2mのキューブを組合せ、ジャンクルジムやハンモック等の約20種類のアスレチック要素を備えている。



キュービックコネクション

▼東川町

北の住まい設計社は、東川の森の中で廃校になった小学校を作業場として利用し、無垢材(接着剤を使わず製材品としてそのまま利用する木材)を使用した家具の製造を手がけている。また、素材は北海道の森にある、ミズナラやイタヤカエデを用いている。

新人議員研修会に参加

7月9日(火)、札幌市第2水産ビルで、道内町村議会新任議員を対象とした研修会が開催され、99町村1議長会から約300名が集い、本町からも5名の新任議員が参加した。

道町村議会議長会の村川寛海事務局長が講師となり、議会と議員の基本使命などについて講演し、参加した議員は熱心に講演に耳を傾け、今後の議員活動に向けて研鑽を深めた。



士幌町農畜産物加工研修施設の 利用にあたって

「愛称「しほろキッチン」から

士幌町食育推進を目指して



士幌町産業振興課 主幹
株式会社Cheers統括マネージャー

杉本忠宏さん

士幌町農畜産物加工研修施設は、本年6月17日(月)より本格的に開始いたしました。これからも未永く皆様に活用していただくために、私から今後の期待を込めて述べさせていただきますと思います。

士幌町農畜産物加工研修施設は、(旧)道の駅「Jアラ21」を改修して誕生しました。士幌町の豊かな自然で育まれた農畜産物を活用し、本格的な食品の加工を町民の皆様へ身近に親しんでいただく事を目的としており

○農産ゾーン(ごら焼きやうどん等の製造)

○畜産ゾーン(肉製品の製造)

○パーティールーム(会議や研修)

に分かれており、それぞれの目的(用途)に合わせて加工機器が設置され、

ご家庭ではできない本格的な加工食品を作ることができます。また、今後は専門機器を組み合わせた応用的な使い方も考えられると思っています

す。4月に運用を開始したばかりなので今後、機器の特徴などを踏まえて町民の皆様にご提案できると思っております。

本施設の使用料金は、研修する内容によってかなり変動いたします。加工したい内容や時間などによって

も変わってきますので研修内容を充実したものとすることでるように基本プログラムを検討したいと考えています。一例を挙げますと6月から実施した内容では、フッフル、ごらや

き、うどん、パン、ソーセージとなっております。これまで実施した内

容を基に、実際に利用する人数から割安な研修ができるのかという点を見据えながらご相談に乗ることができれば、「しほろキッチン」が皆様の集う場所に育ててもらえると考えております。

今後は、肉製品の製造できる種類を増やし、乳製品の加工も実施していきたいと考えております。

加工について、
・食材などを全部自分たちで準備しなければならぬ。
・加工について機械の使い方がわからない。

という事も含め、相談いただけると回答できるように準備しております。まだまだ、研修内容について不明な点などが、たくさんあると感じておりますが、「しほろキッチン」は、士幌町で育まれた食材を使い、皆様の食育の一環として活用していただけるよう、日々精進したいと考えておりますので、今後ともご支援とご協力を賜りたいと思っております。

ます。また、建設に伴って町民の皆様から広く愛称を募集し、今年度4月に「しほろキッチン」に決定し公表されました。応募頂いた愛称の中には、施設への思いやキーワードがあり、主なものは、「夢」「集う」「食」「喜び」でした。その思いに添えるべく取り組みを考え、実践しているところがございます。

「しほろキッチン」の施設は、
○乳産ゾーン(ヨーグルトやチーズの製造)